



マウスコンピューター社のスティック型 PC「m-Stick シリーズ MS-NH1」(以下 MS-NH1) は、世界最小の Windows 8.1 を搭載した PC。2014 年 11 月 28 日の発表以来、新しいモノ好きのアーリーアダプターだけでなく多くのビジネスユーザーを巻き込み大きな話題となりました。その勢いは 2015 年に入ってから衰えることはなく、いまでも多くの店舗では品切れ状態が続いているようです。そんな話題の製品をお借りする事ができたので、早速紹介してみたいと思います！



サイズは 100×38×9.8mm (端子含まず)、重量は約 44g とかなりコンパクト。搭載されている CPU はインテルの Atom プロセッサー Z3735F で、メモリ 2GB に 32GB の内蔵ストレージを備えています。スペック的には一般的な Windows 8.1 タブレットと大きな差はありません。



底面には、USB ポート、電源ポート (microUSB)、電源スイッチが配されています。Bluetooth4.0 を搭載しているなので、Bluetooth を利用しての拡張機能を使用することができますが、USB 接続による機器拡張をする場合は USB ハブなどが必要になります。キーボードの購入と合わせ、利用前に準備しておいたほうが良いかと思います。



上面には microSD スロットがあります。なお、対応している形式は microSD をはじめ **micro SDXC**、**microSDHC** となっており、これらの規格の microSD を挿しておけば容量に対する不安もないでしょう。



モニターやテレビの HDMI ポートに接続する際、直接挿しにくい場合は付属の延長ケーブルを使用してください。なお本製品利用時には給電が必要です。



ちょっと見にくいかもしれませんが、電源を ON にすると MS-NH1 の LED ランプが点灯します。**接続時に設定することは何もなく、HDMI ポートに挿しこむだけととっても簡単。**



電源を ON にすると Windows8.1 のアクティベートが開始。初回起動時はアップデートなどもあるので、5分ほどかかります。**なお、アクティベートはマイクロソフトの Web 認証があるため Wi-Fi 環境は必須。**また、その際、入力もあるのでキーボードもご用意ください。

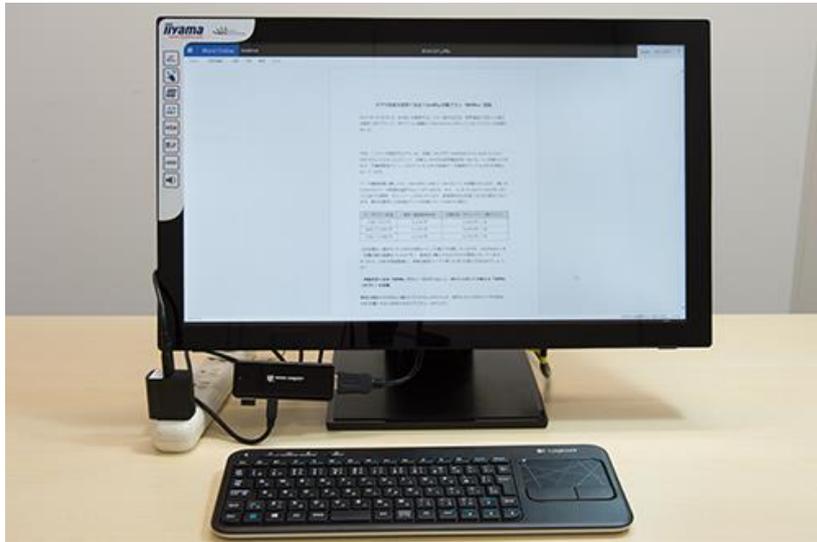


アクティベートも完了し、早速 Web 接続。今回使用したディスプレイはフル HD のタッチディスプレイ。**Windows 8.1 はタッチディスプレイ対応なので、スマホと同じような感覚で使用することもできます。**

※タッチディスプレイの設定などは各製品により異なります。購入前によく確認の上、お選びください。



続いては YouTube での動画再生をチェック。**画像解像度は最大 1,920×1,080、発色数は 1,677 万色まで対応しているので、フル HD、HD 画質の映像も細部までしっかりと表現されました。**また、「艦これ」などのブラウザゲームも問題なくプレイできます。



こんなにコンパクトなサイズであってもちちゃんと Windows。その証拠に **Office ソフトもしっかりと動きます。One Drive を利用した Office Online での編集・閲覧もスムーズ。外出先でのプレゼンなどに役立てられます。**

正直、このサイズでここまでサクサクと動くのは驚きでした。スペックからも分かるように、「使いやすいPC・タブレット」位の性能を有しており、場所を選ばずどこにでも持ち運べるというのは、とても利便性が高いと実感。様々なシーンで活躍してくれそうです。また、ビジネスだけでなく、これから新生活を始める学生や新社会人の1人暮らしにも最適。自宅ではネット接続による動画鑑賞や Web ブラウジングさえ出来れば良いという人の場合、新たに PC を買ったりするのは大変な出費だと思います。しかし、**いま持っているモニタ・TV に挿しこむだけで使えるというのは、無駄な出費がかからないのでとっても経済的です。**「PC は高くて買えない！」と諦めかけていた人は、一度検討してみるのも良いのではないのでしょうか！？

マウスコンピュータースティック型 PC MS-NH1 1412MS-NH1
価格 **9,980 円** (うち消費税 739 円)